



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	1
事業名	行政区振興事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	(1)	まちづくり
目的	第7次総合計画の基本理念に基づき住民自治の確立を目指し、地域自治組織と連携し、新たなまちづくりを目指す。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区長会事務</li> <li>・ 行政区交付金事務</li> <li>・ 地縁団体許認可事務</li> <li>・ 各区掲示板設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習等共同利用施設等管理・修繕</li> </ul>
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政区と地域自治組織の役割が曖昧で、双方の活動の調整が難しくなっている。</li> <li>・ 行政区と地域自治組織双方の活動の調整を進めながら、地域自治組織との関わりを深めていく必要がある。</li> <li>・ 建設されて30年以上が経過した学共施設を地域の拠点施設として常時開放を目指し活用していただけるよう、修繕等を計画的に行う必要があるため28年度に修繕計画を作成したが、施設内の電灯機器の劣化が著しくなっている。</li> <li>・ 27年度に行政区交付金制度の見直しを行い、28年からは新しい制度のもと交付金を交付することとしたが、行政区運営に柔軟に対応できるよう一部制度の見直しを行う。</li> </ul>		
平成29年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年度は第7次総合計画の各施策について、地域自治組織と町や行政区との関係や役割分担を整理し、地域内分権をもう一步進めるためプロジェクトが設置された。これから先の10年を考え、町の事業の見直し、地域自治組織との関わりや区長への依頼業務の内容など、町と地域の組織の関係と役割の整理を進める。</li> <li>・ 学共等の修繕計画に基づき、大屋敷学共改修工事と余野学共空調機取替等工事を行う。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4月～   11月	区長会（毎月） 大屋敷学共改修工事設計～改修工事 余野学共空調機取替等工事設計～取替等工事 区長研修

## □3年間の目標

目 標							
	項 目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	52,708	67,211	76,804
（内特定財源）		千円	2,952	2,505	2,605
人 工	職員	人工	1.5	1.5	0.6
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.4
	計	人工	2.0	2.0	1.0

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-1-1 総務管理使用料 1 行政財産目的外使用料	5	2-1-9-3 地域自治推進事業
19-3-4-2 民生費雑入 50 後期高齢者医療制度特別対策補助金	2,600	2-1-9-3 地域自治推進事業
合計	2,605	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13 委託料 4 協働委託料 8 地域自治推進事業	0	△5,100	従来の地域自治推進事業を行政区振興事業(3事業)と地域自治推進事業(11事業)に分けたため
13 委託料 5 設計監理等委託料 5 大屋敷学共改修工事 設計	673	673	外壁塗装及び屋根防水を行うため。
3 委託料 5 設計監理等委託料 6 余野学共空調機取替等 工事設計	586	586	設備が老朽化しているため、個別空調に切り替え、室内照明のLED化のため。
15 工事請負費 9 大屋敷学共改修工事費 1 大屋敷学共改修工事費	12,528	12,528	外壁塗装及び屋根防水を行うため。
15 工事請負費 10 余野学共空調機取替等工事費 1 余野学共空調機取替等工事費	10,000	10,000	設備が老朽化しているため、個別空調に切り替え、室内照明のLED化を行うため。
17 公有財産購入費 1 さつきヶ丘防災センター用地購入 1 さつきヶ丘防災センター用地購入	9,149	9,149	27年度から手続きを進めてきたが所有権移転に時間を要しており、28年度へ繰越明許をしたが手続きが完了しないため。
19 補助金補助及び交付金 2 交付金 1 行政区	23,916	2,141	大規模分譲による世帯増及び施設開放事業等に対応するため。

## ■ 特記事項

--

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 第7次総合計画の各施策について、地域自治組織と町や行政区との関係や役割分担を整理し、地域内分権をもう一步進めるため、28年度に設置されたプロジェクトにおいて各施策のパートナーの整理を行った。
- ・ 学共等の修繕計画に基づき、大屋敷学共改修工事と余野学共空調取替等工事を行った。

## ■ 評価

- ・ プロジェクトにおいて、各施策のパートナー整理及び各地域自治組織の地域計画とのマッチング作業が終了し、一定の成果が出された。今後もプロジェクトを継続し、その成果を一層具体的なものにするよう検討を重ねる必要がある。
- ・ 学共の修繕計画に基づき、大屋敷学共改修工事と余野学共空調機取替等工事を実施した。これを機に各施設においては、今後、より一層活発に活用されることを期待する。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	2
事業名	まちづくり活動推進事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	(1)	まちづくり
目的	地域住民や活動団体、行政が共に育ち合い、役割分担しながら、協力できる機運を高めることで、豊かで質の高いまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体事務支援</li> <li>・町民活動センターの整備</li> <li>・元気なまちづくり事業</li> <li>・まちづくり道具箱整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO活動促進委員会</li> <li>・やろ舞い大祭</li> <li>・ふれあいまつり</li> </ul>	
現在における 経過又は課題	<p>(1) まちづくり活動の拠点となる「町民活動センター」の充実 センターの機能『出会い・ふれあいの場』『つながりの場』を充実させるため、活動センターの利用者交流会として、毎月1回『まちカフェ♪』を実施しているが、参加者に拡がりが見られないのが課題となっている。今後も引き続き、多様な主体が関わられるようなしなかけを検討していく必要がある。</p> <p>(2) ボランティア登録制度の充実と促進 まちカフェ♪で出されたアイデアをもとに、活動団体に新たな仲間が増えることでまちの活性化を図るため、「ボランティア登録」制度について検討を始めた。シニア世代チャレンジ講座等を実施し、地域社会で活動・活躍できる人材を発掘するとともに、“何かをやってみたい”と考える個人の活躍の場を提供できるよう住民活動団体や地域活動団体とのマッチングの機会をつくっていく必要がある。</p> <p>(3) 多様な団体がディスカッションできる場づくり 多様な団体が主体的に参画できる意見交換の場の持ち方や情報発信のあり方を学ぶ『活動団体スキルアップ講座』を実施している。今後は、中間支援組織を中心に、多様な主体による対話の場をつくり、様々な形の協働を実践していく必要がある。</p> <p>(4) 活動センターの運営母体の組織力強化 センターの運営母体である中間支援組織が平成26年1月『まちなつと大口』として、NPO法人格を取得。安定した組織運営ができるよう、継続支援する。</p> <p>(5) まちづくり応援の仕組み 平成18年にまちづくり応援の仕組みを整備し、広報利用、施設の期日前予約、助成金等の支援を行っている。団体登録制度については、登録数も増加しているが、助成金については減少傾向にあり、特にまちづくり道具箱整備事業については、平成22年度以降6年ぶりに平成28年度1件という現状である。制度開始から10年が経過する中で、まちづくりにおける「地域」の担う役割の重要度が増してきており、現行のNPOを主体とした応援制度の在り方を見直し、多様化するまちづくりの担い手に対応することが必要である。</p>		

平成 29 年度の目標又は改善策	<p>(1) 中間支援団体とともに活動団体と地域とが連携するきっかけづくりを行い、対等な立場でディスカッションできる場や学びの場として、スキルアップ講座や協働フォーラムを開催する。</p> <p>(2) 誰もが集える空間づくりのあり方について「人が集まる空間づくり検討会」において提言書をまとめた。今後は、“人が集まる空間づくり”の実現に向けて新たな検討段階に進めていく。</p> <p>(3) シニア世代や若者がまちづくりに参加・参画できるきっかけづくりを行い、まちづくりの担い手を発掘する。</p> <p>(4) まちづくり応援の仕組みの対象を拡大し、NPOに加え、地域自治組織、行政区、地縁による団体についても応援の対象とする。</p>
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
通年	町民活動センター機能の充実、協働会議（月1回）
隔月	まちづくり情報紙の発行（偶数月）
6	活動団体等スキルアップ講座（～12月）
7	人材発掘講座（～12月）
H30.2	まちづくり協働フォーラム2018
随時	アドバイザー相談会

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民活動センターを拠点に個々の団体がつながり合い、交流や連携が生まれるようにする。</li> <li>・行政と団体の連携・協働に加え、活動団体同士、また活動団体と地域の交流・連携を促進する。</li> </ul>					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ボランティア登録制度の充実。
H31 年度	・地域内の各地で、テーマ（地域課題）を中心とした多様な主体が集まる意見交換の場が生まれ、課題解決型の事業が展開されるようになる。

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	11,283	18,824	20,417
(内特定財源)		千円	2,750	7,790	8,350
人工	職員	人工	1.2	1.2	1.3
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	1.4	1.4	1.5

## ■平成 28 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
17-1 基金繰入金 2 ふるさとづくり基金繰入金	2,350	2-1-9-(4)まちづくり活動推進事業 -13-4-1 やろ舞い大祭協働委託事業
17-1 基金繰入金 2 ふるさとづくり基金繰入金	1,000	2-1-9-(4)まちづくり活動推進事業 -19-4-1 元気なまちづくり助成事業
17-1 基金繰入金 2 ふるさとづくり基金繰入金	5,000	2-1-9-(4)まちづくり活動推進事業 -19-4-2 まちづくり道具箱整備事業
合計	8,350	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
2-1-9-(4)-13 委託料 4 協働委託料 1 やろ舞い大祭事業	2,350	560	松江だんだん夏踊りにチーム参加し、町、大祭の啓発をするため
2-1-9-(4)-13 委託料 4 協働委託料 2 町民活動センター活性化事業	7,561	972	利用者団体の増加に伴い、専従スタッフの配置を強化。また、併せて、活動センターの機能を充実させるとともに協働の推進を図る。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・活動センターで実施する事業やスキルアップ講座等は、NPO、地域に関わらず町内で活動する団体を対象に実施した。まちづくり協働フォーラムでは、地域団体などの活動事例発表から今後の活動の進め方について考える機会とした。
- ・人が集まる空間づくり検討会では、28年度にまとめた提言書をもとに、さまざまな視野から建設場所について検討を行った。



- ・まちづくり応援の仕組みの対象を従来のNPOに加え、地域自治組織、行政区や地縁による団体を対象に加え、地域づくりの発展に努めた。

## ■ 評価

- ・スキルアップ講座等は、多くの方が地域づくりに参加・参画できるきっかけとなっている。協働で取り組んでいる「まちねっと大口」と連携し、その後の地域づくりに関わることができるようフォローアップについて検討していくことが、今後の課題である。
- ・人が集まる空間づくり検討会では、29年度に複数の建設候補地について検討を行った。引き続き提言書に基づき、より具体的なプランを検討していく。
- ・29年度にまちづくり応援の仕組みの対象を拡大したがまだまだ浸透していないと思われる。今後とも、新たに対象となった地域自治組織、行政区や地縁による団体に対してさまざまな機会を通じて応援の仕組みをPRしていく必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	3
事業名	活動団体支援事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	(2)	まちづくり
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興団体（子ども会連絡協議会・老人クラブ連合会・さくらメイト）の自主性と活動理念を尊重し、まちづくりや地域づくりに寄与する団体活動を支援する。</li> <li>・老人福祉センターのコンセプトに基づき、施設の活性化を図る。</li> </ul>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター指定管理業務</li> <li>・老人クラブ事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会事務</li> <li>・さくらメイト事務</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<p>(1) 老人福祉センターの指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の自立性と継続性の確保を視野に入れた長期計画を見据え、事務局体制の強化と理事会のあり方について、喫緊の課題として検討する必要がある。</li> <li>・平成 26 年度の中央公民館耐震補強工事による長期休業期間中に、スタッフのスキルアップ研修を実施し、危機管理体制を強化するためのマニュアルを作成した。</li> <li>・他団体との協働による新規事業を検討する必要がある。</li> <li>・憩いの四季の設備が経年劣化してきているため、優先順位をつけながら計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>・事務長の事務負担軽減を図るため事務長補佐を募集したが、選任するまでに至らなかった。</li> </ul> <p>(2) 老人クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ会員は活発に活動をしている。町全体では、高齢者数が増加している一方、会員数が横ばいとなっているので新しい会員の加入を促していく必要がある。</li> <li>・会員増に向け、非会員でも参加できる事業を実施する必要がある。</li> </ul> <p>(3) 子ども会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局運営強化のため、28 年度から子ども会事務局の事務をまちねっと大口に委託した。</li> <li>・大口町子ども会創立 60 周年記念事業の開催。（平成 27 年度）</li> <li>・地区によっては会員数の減少に伴い、支える保護者の数も減っていることから、活動を維持することが難しくなっている。</li> <li>・子どもたち自身が企画等に参加できる機会をつくることで、子ども会員やジュニアリーダーの手による子ども会活動の運営を目指すことも検討していく必要がある。</li> </ul>		

平成 29 年度 の目標又は 改善策	<p>(1) 老人福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の成果を発揮し、利用者の満足度と新規会員の増加を目指す。</li> <li>・早期に事務長補佐を選任し、事務局機能を強化する。</li> <li>・風呂の膨張タンクの劣化が著しい状況であるため更新する、また、浴室内のタイル剥離が顕著であるため浴槽内及び壁面の張替を施工する。</li> </ul> <p>(2) 老人クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ連合会とともに各地区活動を応援できるしくみづくりをすることで、高齢者が地域において元気で活躍し、介護予防へとつながる活動を推進する。</li> </ul> <p>(3) 子ども会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の企画運営において、子どもの手による子ども会活動を進めるためのきっかけづくりをする。</li> </ul>
--------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4～	子ども会理事会（年7回） ・単位子ども会見直し検討（随時） ・ジュニアリーダー育成検討（随時） 憩いの四季 膨張タンク更新・浴室タイル張替

## □3年間の目標

目 標							
	項 目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・
H31 年度	・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	10,603	11,135	19,299
（内特定財源）		千円	572	1,067	1,094
人工	職員	人工	0.5	0.5	1.3
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.6	0.6	1.4

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
14-2 県補助金 -2 民生費県補助金 2 高齢者地域福祉推進事業費補助金	589	2-1-9-(5)活動団体支援事業 -19-2-2 老人クラブ(県支出金)
17-1 基金繰入金 2 ふるさとづくり基金繰入金	505	2-1-9-(5)活動団体支援事業 -13-4-9 子ども会連絡協議会事務事業
合 計	1,094	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
11 需用費 6 修繕料 1 修繕料	2,268	2,268	膨張タンクの劣化が著しいため設備の更新を行う。
15 工事請負費 11 憩いの四季浴室タイル張替 工事費 1 憩いの四季浴室タイル張替 工事費	5,479	5,479	タイル剥離及び浴槽内から水漏れが確認されるため、タイルの張替を行う。

## ■特記事項

○老人福祉センター「憩いの四季」の指定管理委託料の考え方

老人福祉センターの有する次の施設機能について、利用者に安全・安心で快適な施設サービスを提供できる最小限の維持管理経費を積算し予算計上している。

- ・「憩いの湯」の維持管理〔内訳：真空式温水ヒーター等保守点検料、配管洗浄委託料、膨張タンク清掃料、DPD 試薬 No.1 購入費、水質検査委託料、次亜塩素酸ソーダ等水質管理、集毛器パッキン、ろ板張り替え等風呂用消耗品、NHK 受信料〕
- ・「憩い処さくら屋」の維持管理〔内訳：食品衛生協会等衛生費、玄関マット等リース料、製氷機等保守点検委託料、食器洗浄機洗剤等消耗品、レンジフード清掃費、通信費〕
- ・「憩いの湯」「憩い処さくら屋」を除く施設全体(貸室やトイレ等)の維持管理〔内訳：事務長及び事務長補佐費用弁償、傷害保険等保険料、通信費、事務用消耗品、コピー機リース料、床清掃、玄関マット等リース料、施設用消耗品、健康遊具公園殺虫剤散布、修繕費〕

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・老人福祉センターにおいては、事務局機能の強化を図るため、ハローワークを通じて事務長補佐の募集を行った。また、憩いの湯で使用している膨張タンクの劣化が著しいため設備更新を行うとともに、浴室内のタイル剥離が顕著であるため浴槽タイルの張替及び従来の壁面タイル貼りから塗装への改修を行った。
- ・老人クラブにおいては、高齢者が地域で元気に活躍し、活動が集いの場となり介護予防へとつなが

る活動に努めた。

- ・子ども会においては、28年度から子ども会事務局業務をまちなっと大口に協働委託してから2年が経過し、より寄り添った子ども会活動サポートを行った。

## ■ 評価

- ・老人福祉センターの事務長補佐を募集したものの採用に至らなかった。引き続き事務長補佐の募集を継続し、早期に事務局機能の強化を図ることが課題である。憩いの湯の膨張タンクの設備更新及びタイル改修を無事に終えることができた。今後は、経年劣化が進んでいるさくら屋の厨房設備更新を計画的に行っていく必要がある。
- ・老人クラブでは、高齢者の活躍の場、集いの場として介護予防につながる活動を実施しているが、こうした活動を継続していくためにも、新規会員の確保に努める必要がある。
- ・子ども会事務をまちなっと大口に委託したことにより、子ども会役員を始め各単子の会長と事務局の距離が縮まり、意見交流が深まった。今後、子ども会を継続していく上で、会に加入している子どもたちが企画運営に参画でき、より活発な活動ができるような仕組みを検討する必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	4
事業名	男女共同参画社会推進事業		
総合計画の 体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	(2)	男女共同参画
目的	男女が共に尊重し合い、協力し合い、個を尊重できるまちを目指し、「男女が共に生き共に輝く まちづくり」に取り組む。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発事業協働事業</li> <li>・男女共同参画プラン進捗状況調査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査</li> <li>・男女共同参画推進会議</li> </ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会の実現に向けた地道な啓発をしているが、啓発の効果測定が難しい。</li> <li>また、時代が変わり男女共同参画に対する考え方も変わってきている。時代に合った地道な啓発を継続していく必要がある。</li> <li>・おおぐち男女共同参画懇話会と協働で啓発(講演会等)を行っているが、参加者が少ない。</li> </ul>		
平成29年度の目標又は改善策	<p>第三次おおぐち男女共同参画プランの基本目標「男女が共に生き 共に輝く まちづくり」を実現するため、おおぐち男女共同参画懇話会と協働で、なじみ易くより多くの方に興味をもってもらえる内容の男女共同参画に関する広報記事の連載、研修会等啓発を実施していく。</p> <p>29年度は、第三次おおぐち男女共同参画プランの見直しを行い、次の第四次プランを策定する。</p>		

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	協働契約締結 毎月 広報おおぐちに啓発記事を連載
6	研修会①を開催
11	研修会②を開催
3	啓発紙ハモーンを作成 男女共同参画推進会議 (年3回開催【プラン見直しに伴う】)

## □3年間の目標

目標	.
----	---

項目(単位)	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・
H31 年度	・

## ■ 事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	363	430	1,159
(内特定財源)		千円	339	400	770
人工	職員	人工	0.4	0.4	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.4

## ■ 平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
17-1 基金繰入金 2 ふるさとづくり基金繰入金	770	2-1-9-(6)男女共同参画社会推進事業 -13-4-3 男女共同参画啓発協働委託料
合計	770	

## ■ 平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
11 需用費 4 印刷製本費 1 印刷製本費	200	200	第3次おおぐち男女共同参画プラン見直しに伴う次期プランの冊子を印刷するため。
13 委託料 4 協働委託料 3 男女共同参画啓発事業	770	270	プラン見直しに伴い啓発事業に重点をおくため、講演会やその講師代を増額するため。
13 委託料 4 協働委託料 6 おおぐち男女共同参画 プラン編集事業	100	100	プラン冊子作製に伴う編集デザイン料

## ■ 特記事項

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ おおぐち男女共同参画懇話会との協働委託事業として広報紙への啓発記事の掲載や講演会の実施、啓発紙の発行を行った。また、第三次おおぐち男女共同参画プランの見直しを行い、第四次プランを策定した。

## ■ 評価

- ・ 男女共同参画の啓発活動は、その活動成果がすぐに出るものではないが、幅広い視点で住民の目線に立った啓発活動を行うことができた。また、懇話会と協議を重ね今の時代にあった、第四次おおぐち男女共同参画プランを策定した。



# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	5
事業名	地域自治推進事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本施策	(1)	まちづくり
目的	第7次総合計画の基本理念に基づき、住民自治の確立を目指し、大口町としての地域自治の制度設計を行うと共に、地域自治組織との協働による新たなまちづくりを目指す。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織支援</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度末で役員任期が満了し、29年度からは新しい役員体制のもと事業展開を行うこととなる。また、28年度には、各組織で地域の5年後の将来を見据えた地域計画が策定された。今後は地域計画に基づき様々な事業を行う。</li> <li>・南地域と北地域については、事務所が設置できていない状況である。今後の活動を考えると事務所設置は不可欠であることから、地域内の公共施設を含め活動可能な場所を検討する必要がある。</li> <li>・地域自治組織と行政区の役割が曖昧で、双方の活動の調整が難しくなっている。</li> <li>・地域自治組織と行政区双方の活動の調整を進めながら、行政区との関わりを深めていく必要がある。</li> </ul>		
平成29年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度は第7次総合計画の各施策について、地域自治組織と町や行政区との関係や役割分担を整理し、地域内分権をもう一步進めるためプロジェクトが設置された。これから先の10年を考え、町の事業の見直し、地域自治組織との関わりや区長への依頼業務の内容など、町と地域の組織の関係と役割の整理を進める。</li> <li>・まだ事務所が設置されていない南地域と北地域について、地域で設置できる場所の検討を行う。</li> <li>・地域自治組織がその役割を明確にするため策定した「地域計画」に基づき事業活動が実施できるよう、プロジェクト職員と共に支援する。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4月～	大口のまちづくり戦略会議  地域自治組織活動の支援

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南地域、北地域についても事務所設置に向け働きかけていく。</li> <li>・地域自治組織が地域計画の基づき活動できるように支援していく。</li> <li>・地域計画が町の課題とリンクし事業が実施できるよう職員の地域自治への理解を深める。</li> </ul>					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
地域自治組織設立	3 地域					
地域自治組織の事務所	役場内	役場内（2） 地域（1）	役場内（2） 地域（1）	役場内（2） 地域（1）	役場内（2） 地域（1）	地域（3）
地域自治拠点施設協働事業		検討	行政区で 実施			

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織の充実を図り、地域の中心となる自立した活動ができる支援する。</li> <li>・地域自治組織の事務所を地域内に設置することを目標にする。</li> </ul>
H31 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織の充実を図り、地域の中心となる自立した活動ができる支援する。</li> <li>・地域自治組織の事務所を地域内に設置することを目標にする。</li> </ul>

## ■事業コスト（29年度より地域自治組織事業と行政区事業を分割）

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	52,708	67,211	4,187
（内特定財源）		千円	2,952	2,505	0
人工	職員	人工	1.5	1.5	1.1
	臨時職員	人工	0.5	0.5	0.1
	計	人工	2.0	2.0	1.2

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13 委託料 4 協働委託料 8 地域自治推進事業	4,067	4,067	従来の地域自治推進事業を行政区振興事業(3事業)と地域自治推進事業(11事業)に分けたため

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・第7次総合計画の各施策について、地域自治組織と町や行政区との関係や役割分担を整理し、地域内分権をもう一步進めるため、28年度に設置されたプロジェクトにおいて各施策のパートナーの整理を行った。
- ・地域自治組織がその役割を明確にするために策定した「地域計画」に基づき事業活動が実施できるよう、プロジェクト職員とともに支援した。

## ■ 評価

- ・プロジェクトにおいて、各施策のパートナー整理及び各地域自治組織の地域計画とのマッチング作業が終了し、一定の成果が出された。今後もプロジェクトを継続し、その成果を一層具体的なものにするよう検討を重ねる必要がある。
- ・地域自治組織の「地域計画」の実現にはプロジェクト職員の支援が必要不可欠であるが、今後は、地域包括ケアシステムの構築に向けた調整や活動の活発化に伴う行政区や各種団体との関わりが増えてくることが想定される。30年度からは、試行的であるが、地域振興課内に自治組織毎に地域担当職員を配置し、プロジェクト職員とともに活動を支援する。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	6
事業名	国際交流事業		
総合計画の 体系	基本目標	6	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	(3)	多文化共生・交流・平和
目的	国際理解を深め、多文化共生のまちづくりを推進する		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室支援</li> <li>・ホームステイ補助金事務</li> <li>・国際交流事業推進委員会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生啓発事業</li> <li>・フレンドシップ継承事業</li> <li>・海外派遣サポート事業</li> <li>・多文化共生サポート事業</li> </ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内在住の外国人から日本語教室や就職に関する問い合わせが寄せられるようになり、県国際交流協会協力のもと「日本語教室ボランティア養成講座」を実施。平成26年4月より『大口町日本語教室Cerejaカフェ』を立ち上げた。</li> <li>・日本語教室の参加者が増加傾向にあり、開設日の増設や新たなボランティアの確保を検討する必要がある。</li> <li>・多様な価値観をもった外国人にとっても暮らしやすい多文化共生社会の実現が課題となっている一方、日本語教室等において外国籍住民のニーズを把握していく必要がある。</li> </ul>		
平成29年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室 Cereja カフェを充実させるため、日本語教室ボランティアや多文化共生に関する事業等への協力者を増やす。</li> <li>・多文化共生レインボー（NPO、ボランティアや海外派遣の参加者等）と協力して、多文化共生社会の推進に係る事業や日本語教室を充実させるために、外国人が気軽に訪問、相談できる環境づくりを始める。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生関係団体連絡会議（多文化共生レインボー）開催（月1回）</li> <li>・ボランティア募集（随時）</li> <li>・外国人が気軽に集える環境づくり（日本語教室：毎週土曜日）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回国際交流事業推進委員会</li> <li>第2回国際交流事業推進委員会、海外派遣参加者選考会</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外派遣事前研修・海外派遣</li> <li>海外派遣報告会準備（～10月）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回国際交流事業推進委員会、海外派遣報告会</li> <li>・ふれあいまつり参加（多文化共生レインボー）</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回国際交流事業推進委員会</li> <li>（仮称）多文化交流フェスティバル</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回国際交流事業推進委員会</li> </ul>

## □3年間の目標

目標	・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・
H31 年度	・

## ■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	5,997	7,262	6,878
（内特定財源）		千円	2,322	6,704	6,545
人工	職員	人工	0.4	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.5	0.5	0.5

## ■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
1 財産収入 -1 財産運用収入 1 国際交流事業基金運用収入 1 国際交流事業基金預金利子等収入	10	1 国際交流費-1-1-(2)一般管理事業
3 繰入金 -2 基金繰入金 -1 1 ふるさとづくり基金繰入金	1,171	1 国際交流費-1-1-(2)一般管理事業
3 繰入金 -2 基金繰入金 -1 2 国際交流事業基金繰入金	3,888	1 国際交流費-1-1-(2)一般管理事業
4 諸収入 -1 雑入 -1 1 海外派遣参加者負担金	1,476	1 国際交流費-1-1-(2)一般管理事業
合計	6,545	

## ■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
1 国際交流費 -1-1 13 委託料 -4 協働委託料 2 多文化共生啓発事業	0	△182	NPO 登録団体サタゴール Co. が実施してきた子供向け国際講座を多文化共生サポ-ト事業に移管したため。
1 国際交流費 -1-1 13 委託料 -4 協働委託料 4 多文化共生サポート事業	1,072	154	NPO 登録団体サタゴール Co. が実施してきた子供向け国際講座を多文化共生サポ-ト事業に移管したため。

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

- ・外国人住民が気軽に訪問、相談できる場として実施している「日本語教室 Cereja カフェ」の充実させるため、月に1回、ボランティア会議を実施し、学習者の状況を情報交換している。また、活動の充実を図るためボランティアの増加に努めた。
- ・多文化共生レインボーでは、外国人住民が気軽に地域社会に参加するキッカケづくりの一環として「ふれあいまつり」に参加している。
- ・学校生活や部活動等を離れ、異年齢の仲間とチームをつくり、異文化体験をすることで本町のまちづくりの人財を発掘し、育てるためのきっかけづくりとして、毎年、海外派遣事業を実施している。29年度は、国際交流事業推進委員による選考を経た町内の中学生(2・3年生)、高校生及び大学

生 12 名をシンガポール・マレーシアに派遣した。

## ■ 評価

- ・「日本語教室 Cereja カフェ」において、活動の充実を図るためボランティアの人数が増加したことができた。今後とも、多くの人たちの協力により「日本語教室 Cereja カフェ」を外国人住民が気軽に参加できる場として発展していくことを期待する。
- ・多文化共生レインボーにおいては、ふれあいまつりに参加することで出身国の文化を発信するとともに、地域における外国人住民との交流の場とすることができた。こうした活動を通じて、多文化共生への理解者がふえていくものと期待している。
- ・海外派遣事業については、中学生から大学生まで幅広い世代が参加するようになり、異文化体験のみならず世代を超えた絆づくりの場としても大切な役割を担っている。  
派遣事業報告会についても、中学校ランチルームでの開催のほか給食時のテレビ放送を行い、全生徒が参加者の体験談を聞くことできる機会をつくることができた。今後も、様々な方法により参加者の体験を伝え、多くの生徒の参加意欲を高めていくことが必要である。